

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	千川おひさま幼稚教室			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 20日 ~ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 20日 ~ 2025年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感染症マニュアルなど必要なマニュアル等の作成、整備については、法人として取り組むことで抜け落ちがないようにできています。	必要なことを法人全体で共有し、委員会等を立ち上げて担当者を決め、マニュアル類を作成しています。そのマニュアルを基に事業種別、事業所ごとに整えています。 保護者会ではマニュアル類の原本を回覧するようにしています。	保護者への周知が弱いので、保護者会だけではなく説明会時にも回覧できように工夫する必要があると考えます。
2	年6回の学習会を実施して5領域のねらいに沿った年間の活動計画の整理、幼児児童のアセスメント作りに取り組んでいます。	学習会では、ガイドラインに記載されている5領域のねらいに沿った年間活動計画の整理を進めています。また、法人のアセスメントとは別に幼児向けのアセスメントを作成し、実施できるように取り組んでいます。	定期的に活動プログラムなどを見直し、ガイドラインに沿った支援を展開していくことが重要だと考えています。
3	併用している幼稚園との連携がでています。	定期的に連絡を取り合い、訪問も実施しています。また、「連携シート」を作成し、保護者も含めて目標を共有して連携をすすめています。	市内の幼稚園に取り組みを知りたいためのパンフレットを配布するなど工夫が必要だと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	OT、STなど専門職は事業所内にはいません。	OT,STなどの専門職を採用する予定はありません。	児童発達支援センターなどとも協力して、保護者のニーズに応えつつ、必要に応じて専門職に繋げられるようにしていく工夫も必要だと考えています。
2	安全計画、危機管理マニュアル、BCP、感染対策指針、送迎安全マニュアル、虐待防止マニュアル等法人内で整備しているものの周知が必要だと考えています。	マニュアルを見てもう機会が少なく、周知が難しい。また、量も多く見る方も大変だと思います。	保護者会や説明会時に見れるようにすることや全体への周知として分かりやすい一覧表を作成するなどの工夫が必要だと考えています。
3	保護者同士の交流、きょうだい支援について、ニーズの把握とそのニーズに合った支援が必要だと考えています。	年5回の保護者会と親子遠足、毎月の参観を設定していますが、保護者同士の交流が積極的に進んでいるわけではありません。	きょうだい支援については、事業所で取り組むというよりは他機関につなげるなどで対応できればと思います。保護者同士の交流は保護者会等で話をしやすい場の設定や話の内容を提示することも必要だと考えています。